

核攻撃対応マニュアル

準備

- 1) 脱出用キット、災害キットを準備しておく
- 2) 緊急時に家族がどのように行動するのか？プランを作り話し合う
- 3) 自宅、職場、生活圏周辺でのコンクリート製建物、地下施設をリストアップする

攻撃

- 1) 警察、消防、市町村からの情報に注視する
- 2) Jアラート発令後は、ただちに避難行動をとる
- 3) コンクリートは放射線を遮蔽するため、コンクリート施設内で身をかがめる
- 4) たとえ家族と離れ離れの状況だとしても、24時間は施設内に留まる
- 5) 失明の恐れがあるため、核爆発の閃光は見ない
- 6) 身を守ってくれる可能性がある構造物であれば、その後ろに身を伏せる
- 7) 地面（床）にうつ伏せになり、耳に手を当て鼓膜を守り、口を開け肺を守る

衝撃波の到達には30秒ほどかかる可能性がある

8) 核爆発地点から遠くはなれていても、放射性物質は風に乗って流れてくることを忘れずに

9) 安全を決めるファクターは3つ。着弾地点からの距離、防護、そして時間

10) 屋外にいた場合は、放射性物質が付着している上着を脱ぎ捨て、可能であれば、シャワーを浴び除染する。ただし、皮膚をこすったりしないこと

髪を洗う場合は、シャンプーは使用しないこと。放射性物質を髪の毛のなかに閉じ込めてしまうため

シャワーが浴びれない場合は、ウェットティッシュで、そっと拭くこと

上着を脱ぐだけでも、90%近い放射性物質を除去できる

11) 汚染した衣服はビニール袋に入れ、出来るだけ人間から遠ざけること

12) マスメディアからの情報収集を行う